

平野ヶ丘

平成30年度 学校報 第2号
多治見市立養正小学校
多治見市平野町2丁目80番地
TEL0572-22-3181~2 FAX21-2100
E-mail s-yosei@city.tajimi.lg.jp

校長室より

養正校区の街づくり市民会議の方から、連絡をいただきました。「今年も、子どもたちと一緒に花の種をまき、校区に苗を配る活動をしたい。」というものでした。朝の会で全校放送を入れ、手伝ってくれるボランティアを募集しました。(一年生は、早帰りでしたので対象は二年生以上)

何人の子が集まるのだろうと思っていましたが、名簿にとりまとめたら、なんと120名以上の子どもたちが参加してくれることになりました。一つの教室での活動を考えていたので、大人数は無理でした。急に放送をかけ、「今回は全校1組の参加希望の子たちをお願いしたい。」

と連絡をしました。うれしい悲鳴です。朝の会のときの放送でしたので、活動内容も十分に説明できない中、自分たちの時間の昼休みに、「よしやろう。手伝おう。」という思いで参加してくれたのだろうとうれしくなりました。

また、参加の様子も大変いい姿でした。市民会議の方が、上手に準備や指示をしてくださったこともあります。違う学年の子が混じり合いながら、大変小さな種をていねいにまくことができま



した。これも、養正小が毎日の掃除など、異学年の子どもたちと一緒に活動をしているよさなのだろうと、色の違う帽子が頭を寄せて活動している姿がとてもよかったです。

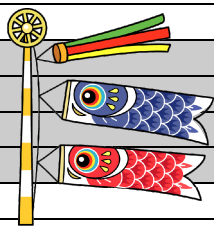
2000粒以上の種を順調にまくことができました。今朝、様子を見るとたくさんの芽が出ていました。今度は2組の子たちと植え替え、地域に届けるのが楽しみになりました。

毎日の昼休みの様子も感心することがあります。多くの子どもたちが、運動場で遊んでいます。小学生の体力低下が話題になったこともありました。何かのトレーニングをするということではなく、まず、元気に外で遊ぶことができることが、小学校では大切だと考えます。鬼ごっこをしている子どもが、ぶつからないのか少々心配になるほど、よく遊んでいます。周りに気を配りながら、時には避けながら走ることで柔軟な動きができるようになるのかもしれない。転んで、膝をすりむくのも大切な経験になるのでしょう。

昼休みが終わる前の音楽が流れると、運動場にいる子どもたちの動きが、さっと変わって掃除の場所へ向かう姿になります。掃除の時間になると、昼休みの賑やかな声がしませんが、「動」と「静」の切り替えができることもとてもよい姿です。

5月行事予定

日	曜	下校	校内行事
1	火	13:30(1年)	1,2年仲良し遠足 4年生消防署見学
2	水		三校幼保合同引渡訓練14:35 第1回三校会議19:30本校
3	木		憲法記念日
4	金		みどりの日
5	土		こどもの日
6	日		
7	月	13:25	家庭訪問① 集団下校 歯科巡回指導(1・2・3年)
8	火	13:25	家庭訪問② 集団下校
9	水	13:25	家庭訪問③ 集団下校 知能テスト2年5年 育:三校合同地区責任者会19:30多治見中
10	木	13:25	家庭訪問④ 集団下校 歯科検診(全校)
11	金	13:25	家庭訪問⑤ 集団下校 集会(委員長) 歯科巡回指導(4・5・6年・特支)
12	土		
13	日		
14	月	13:25	自尊感情調査週間 家庭訪問予備日 集団下校 ALT
15	火		委員会⑥ トイレ掃除指導 6年救急救命講習 5年血液検査
16	水		内科検診(4,5,6年) 集会(清掃委) 新掃除スタート 職員救急救命講習
17	木		観劇①②
18	金		なかよし養正あそび② 検尿①
19	土		市PTA連合会定期大会
20	日		
21	月		朝読み聞かせ 体重測定(高学年)
22	火		体重測定(中学年) こいのぼり集会③ クラブ⑥
23	水		体重測定(低・特学年)
24	木		命を守る訓練予備日 ALT
25	金		連れ去り防止教育③(1~3年)
26	土		
27	日		第1回資源回収
28	月		
29	火		交通安全教室(1年② 3年③④) 検尿 委員会⑥
30	水		
31	木		5年地球村合宿1日目 ALT



※学校を出る時間帯 1年は家庭訪問後、火のみ14:20下校 あとは15:10下校です。
2年は15:10 3~6年は15:10下校と 16:00下校があります。

お願い~通帳残高のご確認を~

学習費・給食費等の引き落とし日は、毎月10日(休日・祝日の場合は翌営業日)になっています。5月10日(木)は、4,5月分(2か月分)が引き落とされます。

引き落とし不能の場合は、現金納入をしていただきます。預金の残高にご注意いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

『親育ち・子育て』コーナー

親が子に与える、脳を育てる生活環境 教育推進課

よい発達とは「よい脳の育ち」と言い換えることができ、そしてその脳の育ちの大部分は、周りの大人が作る環境、すなわち生活によって大きく変わるということを確信しました。「親が子に与える、脳を育てる生活環境」があります。その具体的内容は、

- ・ブレない生活習慣を確立し繰り返す。
- ・調和がとれたコミュニケーションを行う。
- ・お互いを尊重して協力し合う体制を作る。
- ・ストレスの手癖網対処方法を共有する。
- ・大人と子供がお互いに楽しみあう雰囲気を作る。
- ・大人はブレない軸を持つ。

の6項目にまとめられます。

ただの育児というニュアンスではなく、脳を育てる順番とバランスを強く意識して大人が子どもに生活の中でかかわっていくことが大切です。

(「指導と評価」2018年4月号 文教大教授 成田奈緒子 より)